

1. 代ゼミ入学期編

① 代ゼミに来る前は、生物はどんな科目だと思って、どんなふう勉強していましたか？また生物は得意だったか苦手だったかを書いてください。それから「物理選択で全然勉強していなかった」なんて場合もあるでしょう。それならばそれを書いてください。

→暗記で勝負する科目だと思って、問題集の答えの暗記に力を入れていました。自分の中では得意な方だったと思います。センターは8割ちょっとでした。

「生物は暗記科目」ですよ。暗記しないと何も始まらない。でも、それだけだといずれ壁にぶつかるわけです。

② まわりの友人たちなどはどんなふう勉強していましたか？

→資料集を読み込んだり、問題集をやりこんだり、いずれにせよ知識を詰め込む勉強をしていた人が多かったと思います。

まあ、皆さんそんな感じですよ。この大堀も、学生時代はそうでした。

③ この時期は何大学の何学部を志望していましたか？

→獣医学科を志望していました。第一志望は帯広畜産大学の畜産学部でした。

それでは、一年間、獣医学部を目指して頑張ってください(^o^)/

④なぜ代ゼミを選んだのですか？

→新潟県で唯一対面授業を受けられる予備校だったからです。

自由に日程・時間を組めるなど、映像授業は映像授業でいい所もあるのですが、対面授業は対面授業でいいところがありますよね。それは…後に答えてくれている通り、双方向性と緊張感です。

⑤なぜ大堀の生物を選んだのですか？

→現役の時のセンター試験で8割を超えていたので、少し発展した内容を学びたくてハイレベル生物を選びました。

大堀の「ハイレベル生物」は、ある程度知識が頭に入っているものとして、それら知識どうしをつないで1つの大きな知識にしていく作業を行います。そして、知識と知識をつないで、新しい知識を作り出す。これをひらめきをと言いますが、このひらめく力を養成していくのです。センター試験で7割、模試の偏差値なら55以上の学生さんなら大堀のハイレベル生物がぴったりですよ。

⑥ 大堀の講義を受けたときの、最初の印象はどうでしたか？

→初回の授業は後ろの方の席に座っていたのですが、前の方の席だとより頻繁に質問されるので、2回目の授業から友人と一緒に前の方の席に座ることにしました。前の方の席だと、緊張感も、質問に答えられなくて困ることも増しますが、授業により集中できるし自分がされた質問は忘れないので、勇気を出して前に座ってよかったと思っています。

学生に質問をする。それに対する返答に、さらに大堀が突っ込む双方向の授業。それが大堀の生物です。一方通行の講義はしませんよ。これから受講することになる学生さんたちもどんどん前の方に座って大堀に指されましょう(^o^)

⑦ この時期の予習・復習はどうしていましたか？(時間配分、他の科目との兼ね合いなど)

→予習はその分野の内容を授業直前に代ゼミのテキストや教科書で軽くさらっていました。復習は授業のノートをじっくり見返していました。授業2コマ分のノートで60~90分くらいかけていたと思います。集中力が切れてきたら音読などをして気分転換していました。

「生物2コマ分の復習を60~90分くらいかけた」ということは、「一週間で生物に60~90分かけた」ということですよね(演習講座の分は除く)。このくらいの配分でいいと思います。

英数ができる学生さん(一般には60以上、医学部附いなら65以上)は、どんどん生物を勉強しましょう。逆に、そうでない学生さんは、生物をやってはいけません。なぜなら、受験は英数で決まるからです。英数できてはじめて受験の土俵に上がれるのです。生物ではなく英数をやりましょう。一に英数、二に英数、三四も英数、五に生物です。

2. 1学期編

① そろそろ大堀の講義にも慣れてきたころ。大堀の講義をどのように感じていましたか？

→慣れてきて緊張感はありましたが、大堀先生のツッコミやクラスの人数の少なさのおかげでアットホーム感が出てきたように感じます。講義内容は、大学受験に出てくる内容でないものもあって、授業を受けているというよりクイズを考えている、みたいな感覚でした。

そうですね。ハイレベル生物は学生数が少ない分、アットホームになりますよね。これがまたいいんです。思い切り間違えられますからね。間違えればそれは記憶に残りやすい。また、悔しいから頑張って覚えようとするようになるわけです。

② この時期はどのように生物を勉強していましたか？

→入学した時の状態を継続していました。

継続こそかなり、ですね(^。^)

③ 生物の成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

→授業で学んだ分野の成績がすぐに上がりました。特に記述が伸びたと思います。

そうでしょうそうでしょう。知識と知識がつながり始めた証拠です。がんばれ(^o^)/

3. 夏期編

① 夏期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ること
を決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しまし
たか？

→生物は大堀先生のオリジナル講座を2つ、それ以外は英文法と数学ⅠAⅡBとセンター日本史の
文化編を取っていました。私は夏期講習が始まる割とぎりぎりにどの講座を取るか決めました。周
りと比べたら遅いほうだったと思いますが、最新の自分の成績を見て夏に何をしたらいいのかをし
っかり考えてから申し込みました。生物の講座をとった理由は、2学期の内容を先取りするのに自
分でやるよりもはるかに効率がいいと思ったからです。ほかの講座は単純に苦手だったので取りま
した。また、1学期で作上げてきた生活や勉強のリズムを崩さないように、あまり講座がある週
が偏らないようにしました。

**夏期は、生物に関しては1学期の復習と2学期の予習の期間です。すなわち、夏期のうちに生物
の全範囲に手を付けておくべきなのです。ここで重要になってくるのが効率ですね。よくある質問
が「夏期は講習会は取らずに自分で勉強しようと思うのですが、それは可能でしょうか？」とい
うものです。そりゃあ自分でやろうと思えばできますよ。でも、限られた時間内でできるか？とい
うことです。「生物の講座をとった理由は、2学期の内容を先取りするのに自分でやるよりもはるか
に効率がいいと思ったからです」とありますが、これですね。夏期講習会はお金がかかりますが、
これは言い方を換えると「時間を買う」ということなのです。**

**夏期講習会で大堀が担当する講座には「大堀の正しく理解する生物(神経・免疫・個体群・生
態)」「大堀の正しく理解する生物(進化・系統分類)」「共通テスト生物(当時はセンター生物)」**

「ハイレベル生物」があります。大堀のオリジナル講座である「大堀の正しく理解する生物(神経・免疫・個体群・生態)」「大堀の正しく理解する生物(進化・系統分類)」は、2学期の分野を先取りするとともに、受験生が苦手とする分野を深掘していきます。悪い思いはさせません。ぜひ受講してください。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

→1学期の復習は、大堀先生の復習シートをやりつつ、特に苦手だと思う範囲を高校の頃に使っていた問題集でさらっていました。2学期の範囲の学習は、夏期講習の内容が2学期の範囲の先取りだったので、講習の内容のノートの見直しを中心にしていました。

いい学習方ですね。ところで、大堀の「ハイレベル生物①②」・「共通テスト生物(当時はセンター生物)」には、復習をしやすいように「復習シート」があります。これは、毎回の講義内容に合わせた「知識・考え方を問う問題集」のようなもので、このウェブサイト上で見ることができます。無料ですから、受講生は(受講生でなくてもいいですよ)ぜひ活用してください。

③ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

→授業で習ったところを、自信をもって答えられるようになりました。少しずつ問題への取り組み方と考え方がわかってきた感覚がありました。

いい調子ですね。知識どうしがどんどんつながって、1つの大きな知識に変わってきたのではないのでしょうか。さあ、2学期も頑張っていきましょう(^o^)

4. 2学期編

① 夏期の学習が2学期にどのように影響を与えましたか？

→1学期は復習に追われていましたが、夏期に2学期の内容をある程度学んでいたため、1学期よりも予習復習に割く時間が減り、他の教科にあてることができるようになりました。

「他の教科にあてることができるようになりました」。これですよ、これ。夏の効果がさっそくあらわれはじめましたね。

② 2学期の範囲の学習と1学期の範囲の学習の兼ね合いはどうでしたか？

→2学期の範囲の学習が中心になり、1学期の範囲の学習は問題を解いていて忘れていた箇所や分からない箇所があるとその都度確認する程度でした。

「1学期の範囲の学習は問題を解いていて忘れていた箇所や分からない箇所があるとその都度確認する程度」、これでいいと思いますよ。1学期の復習は夏期にやっておりますからね。今は2学期の内容に集中していきましょう。

③ 夏期講習講座の復習はどうしましたか？

→2 学期の授業が復習になりました。

そうそう。講義でも話しましたが、2 学期の範囲は夏期にやり、2 学期の大堀の講義は復習として聞きます。

④ センター試験対策はどうしたか？ いつ頃始めましたか？ どのようなことをしましたか？

→この頃は生物のセンター試験対策はまだしておらず、冬期あたりから過去問を解き始めました。

昨年のセンター試験で8割とれていたわけですから、この調子でいいと思いますよ。

⑤ この時期の成績の推移はどうでしたか？ 模試の成績など。このころ感じた不安などはありましたか？

→私は代ゼミに入ってからすぐに成績が上がって、それ以降は横ばい状態でした。なかなかそこから成績が上がらなかったため、そのことに対する不安がありました。ストレスがたまり始めたのもこの頃で、そういう時は一度早い時間に勉強をやめてぐっすり眠る日を作りました。

がんばっているのに横ばい。たしかに不安になりますね。ところで、不安でどうしようもなくなったら人に相談してみるのも1つの手です。代ゼミの新潟校にはカウンセラーさんもいますから、是非相談してみましよう。

5. 冬期編

① 冬期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ izzごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

→センター試験前はセンター日本史とセンター数学を取りました。どちらも苦手な科目で、これも夏期講習の時と同じく割とぎりぎりに決めました。

センター試験後はセンターによってなまった2次試験の感覚を取り戻すために英語の長文と数学の演習と化学の演習を取りました。（センターのあと生物は使いませんでした。）これはセンター前に入れた講座と同じタイミングで申し込みました。

そうそう、センター試験が終わったあと、2次試験の問題を解こうとすると、ペンが進まないんですよ。「2次試験の感覚を取り戻す」、とても大切ですね。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

→過去問などで問題演習をしながら苦手なところはノートだったり慣れ親しんだ問題集に戻ったりしていました。

④ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

→マーク模試では苦手だった日本史と数学が上がりました。しかし、それまで安定していた国語が一気にぐんと下がり、少しスランプに陥りましたがそれまで学んだことをもう一度最初から見直して本番は目標点を取ることができました。

おお、日本史と数学が上がったのか。よかったよかった。国語というのは、ひとによっては上がったたり下がったりだよ。大堀もそうでした。

⑤ センター試験の対策はどうしていましたか？

→どの教科もセンター試験の過去問と駿台や河合塾の予想問題集を友人とシェアして数をこなしていました。

そうだね。まずは過去問は全部解きたいところ。できれば時間をちゃんとはかって、本番と思って真剣に。

6. 直前期編

① 1・2月の生物の学習はどうしていましたか？

→センターが終わってからは、国立大の2次試験や私立受験で生物ではなく化学を選択することが決まったので、他教科の学習に力を入れました。

さあ。あともう少しだ。がんばれ！！

② 何大学の何学部を受験しましたか？

→鳥取大学農学部共同獣医学科を受験しました。

③ 受験の前日・当日にやったことは？

→最後の最後まで自分が苦手なところのノートの見直しはしていましたが、試験当日などはリラックスして集中力を保つほうに重きを置きました。当日は天気がとてもよかったので、試験間の休憩時間内にキャンパスを散歩してみました。周りを見た限りあまりそのようなことをしていた人はいませんでした。これはやってよかったと思っています。

試験当日はリラックス・集中力だよね。音楽を聴くのもいいし、散歩もいい。大堀は、休み時間はカッターナイフで鉛筆を削っていました。あれ、集中力アップにいいんだよね。

7. その他

① 受験校・学部が決定したのはいつごろですか？

→センターが終わってから慌てて全国の獣医学科の過去問を解いてみてやっと決定しました。あの時期にあんなにじたばたしてた人はいなかったと思います。

過去問を解いて決めるのはGood！ 模試ではA判定なのに、実際問題を解いてみると全然解けない、なんてことはよくあります。それは、問題との相性が悪いから。例えば、大堀の場合、早稲田(教育学部)は模試でA判定だったけど、実際に過去問を解いてみると厳しい結果に……。そういう意味でも過去問を解いて、相性がいいか悪いかを調べましょう。

② スランプになった時期はありますか？またそれをどういふふうにか克服しましたか？

→さすがに試験直前は食事がのどを通らなくなるくらいには緊張していました。そういう時はやっぱり同じ状況にある友人と励ましあったりすることで幾分か緊張が軽くなりました。

だれかとはなすというのは効果があるんですね。代ゼミでの講師室は出入り自由なので、講師に話すのもアリですよ。

③ ストレス解消法などありましたか？

→好きな音楽を聴くことがストレス解消法でした。毎朝前向きになれるような曲を聴いて自分を励ましていました。また、先ほど書いたように友人と話すのもいい気分転換になっていました。

ストレス解消法はひとそれぞれ。前記しましたが、講師にストレスをぶつけに来るのもOK。ただし、忙しくなさそうな先生を選びましょう(^。^;)

8. 大堀の講義は今、大学でも役立っていますか？ それから後輩たちへの応援メッセージなど

→まだ1年生の前期なので専門的な学習はあまり始まってはいませんが、それでもレポートを書くときに大堀先生の授業ノートが見たくなり、一度は実家においてきたものをわざわざ送ってもらいました。やっぱりわかりやすくまとまっているだけでなく突っ込んだ内容まで記してあるので今でも大活躍しています。

まわりに物理・化学で受験したというひとがいたら、是非大堀の参考書を読むようにすすめてください(^。^)

自分がいきたい大学、進路のために時間とお金をかけるのを許されるというのはとても幸せなことだと思います。確かに浪人中は心が折れそうになったりつらいことも多いですが、それもぜいたくな悩みだと私は思っています。だから、本当につらくなったときは他にも様々な選択肢があった中で自分が浪人を選んだこと、またそれ故に逃げようと思えばいつでも逃げられる状況にあることを思い出してほしいと思います。

悔いが残らないように、この1年時間を大切に頑張ってください。応援しています。

一年間、お疲れ様でした。そして合格おめでとう。

大学は楽しいですか？ ぜひ代ゼミに遊びに来てくださいね。大堀は、名古屋は月曜日の午後・新潟は水曜日の午後、新宿本部には木・金の午後に来ていますよ。